

長良川公園でぎふ元旦マラソン

第32回ぎふ元旦マラソン大会が1日朝、岐阜市長良福光の長良川公園を発着点に開かれ、県内外から参加した535人が2022年の走り初めを楽しんだ。

(山田雄大)

2部門535人、走り初め



一斉にスタートを切る参加者＝岐阜市長良福光、長良川公園

寅年 ダツシユ



つたえる、つながる

昨年コロナ禍で中止となったため、2年ぶりの開催。長良川右岸を金華橋で折り返して4往復する10キロ、2往復する5キロの2部門で行われ、北海道から沖縄県までの6、86歳がエントリーした。

寅年にちなんで虎のかぶりが物身に着けた参加者もいるなど、和やかな雰囲気です。参加者は、雪の残る川沿いの景色を楽しみながら思い思いのペースで駆け抜けた。

大会はNPO法人ぎふ長良川走ろう会(高橋睦理)が主催、国内外で慈善事業を行う羽島市の国際クラブ(青山るみ、青山英世代表理事)が協賛。10キロは柴橋正直岐阜市長、5キロは同クラブの高橋雄浩専務理事がスタートを務めた。

寅年にちなんで虎のかぶ

大会はNPO法人ぎふ長良川走ろう会(高橋睦理

専務理事がスタートを務めた。